

# 全鉄連流通動態調査結果表 2021年6月分

(2021. 7. 29)

全国鉄鋼販売業連合会

品 種	地 区	前月在庫量		仕入量		販売量		当月在庫量		
		5月実績	前月比	6月実績	前月比	6月実績	前月比	6月実績	前月比	
異形棒鋼	東京	5,411	96.1%	40,102	125.0%	39,022	120.8%	6,491	120.0%	
	大阪	2,973	107.9%	17,136	108.6%	17,322	111.3%	2,787	93.7%	
	愛知	4,300	96.0%	3,743	102.8%	3,908	102.3%	4,135	96.2%	
	計	12,684	98.6%	60,981	118.4%	60,252	116.6%	13,413	105.7%	
形 鋼	山形鋼	東京	17,737	99.7%	9,131	122.5%	9,299	123.9%	17,569	99.1%
		大阪	22,181	92.8%	8,736	127.4%	9,642	112.5%	21,275	95.9%
		愛知	8,676	89.1%	4,491	135.0%	4,411	100.5%	8,756	100.9%
		計	48,594	94.5%	22,358	126.7%	23,352	114.1%	47,600	98.0%
	溝形鋼	東京	14,022	100.9%	5,938	111.0%	5,712	109.2%	14,248	101.6%
		大阪	13,003	94.0%	5,101	106.0%	6,148	109.1%	11,956	91.9%
		愛知	6,437	94.1%	3,255	113.2%	3,247	99.1%	6,445	100.1%
		計	33,462	96.8%	14,294	109.6%	15,107	106.8%	32,649	97.6%
	H形鋼	東京	32,825	101.8%	16,492	104.6%	17,069	112.3%	32,248	98.2%
		大阪	51,350	96.6%	25,102	122.9%	28,616	128.6%	47,836	93.2%
		愛知	15,766	105.6%	13,588	123.7%	12,122	119.5%	17,232	109.3%
		計	99,941	99.6%	55,182	117.0%	57,807	121.4%	97,316	97.4%
合 計		181,997	97.7%	91,834	117.9%	96,266	117.1%	177,565	97.6%	
コ ラ ム	東京	9,235	97.1%	2,453	103.3%	2,898	109.3%	8,790	95.2%	
	大阪	13,777	96.7%	2,462	139.9%	3,183	142.4%	13,056	94.8%	
	愛知	1,907	101.0%	2,075	198.8%	2,278	222.0%	1,704	89.4%	
	計	24,919	97.1%	6,990	135.0%	8,359	141.4%	23,550	94.5%	
軽量C形鋼	東京	3,401	95.6%	2,092	129.4%	2,220	125.1%	3,273	96.2%	
	大阪	2,995	93.3%	1,812	143.8%	1,806	122.4%	3,001	100.2%	
	愛知	2,710	106.6%	1,206	104.4%	1,082	109.6%	2,834	104.6%	
	計	9,106	97.8%	5,110	126.7%	5,108	120.6%	9,108	100.0%	
総 計		228,706	97.7%	164,915	119.0%	169,985	118.0%	223,636	97.8%	

(注) ①単位トン ②調査対象企業 **東京30 大阪19 愛知13 合計62社**

※この資料は経済産業省、鉄流懇関係者、報道機関のみ配布しています。

[調査内容変更について]

昭和48年4月より開始された本調査は、平成12年4月実績発表まで27年間同一フォーム内容で実施され、鋼材二次流通の実態を表す資料とされていた。しかし、この間に調査品目の中には流通性がなくなった品種、また、未調査品種ながら、市場性が高い品種など鋼材市場においてさまざまな品種の盛衰があった。そこで全鉄連常任理事会において、本調査の見直しが提議された。そして、平成12年5月分実績より従来の流通動態調査を改訂し、上記のとおり発表することとなった。

その変更内容は①調査対象品種にコラムを追加②調査対象品種よりプレーン、不等辺山形鋼、I形鋼、デッキ・キーストンを除外する③契約残調査を取り止める、以上3点である。また、本調査を「特約店流通動態調査」と称していたが、これを「全鉄連流通動態調査」と呼称変更した。これは調査機関である当会が全国鉄鋼販売業連合会に名称変更したことによる。また、平成13年5月実績をもって調査対象品種変更後1年が経過した。この間、暫定的な数量をもって時系列表及びグラフを作成していたが、それを改め月表の数値と一致するように改訂した。